

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	原子力科学館リニ ューアルに伴うガ イダンス映像の制 作	公益社団法人 茨城原子力協議会	6,480,000	6,480,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じて欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	交付金事業名		
1	原子力科学館リニューアルに伴うガイダンス映像の制作		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		公益社団法人 茨城原子力協議会	
交付金事業者実施場所		茨城県那珂郡東海村村松	
交付金事業の概要		原子力科学館リニューアルで制作を予定しているガイダンス映像の一部を先行制作し、リニューアル期間中に本ガイダンス映像を放映する。	
総事業費	6,480,000	交付金充当額	6,480,000
		うち文部科学省分	3,240,000
		うち経済産業省分	3,240,000

交付金事業の成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、原子力科学館内見学の導入部である「アトミックパノラマスコープ」が経年劣化等の為視聴しにくい状態（画面鮮明度低下、画面の一部停止）にあり、所期の展示ストーリーが不十分となり、来館者への理解の妨げとなっていることから、リニューアルで予定しているガイダンス映像の一部を先行制作することで、現状の不具合の補完やリニューアル中における部分開館時の見学者の理解促進、来館者数の低減緩和に資するものとする。 			
交付金事業の成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・見学者の理解促進に資するガイダンス映像の制作を行う。 			
交付金事業の成果及び評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたしたちの暮らしと放射線」と題するガイダンス映像（約8分）を制作し、専用の大型液晶モニターによる放映システムを完成した。このガイダンス映像を原子力科学館の来館者に視聴いただくことにより、放射線について、それを発見した研究の歴史、放射線の種類とその特性、暮らしや社会での放射線の利用などをわかりやすく解説し、科学館展示物等への関心を誘う導入部として活用できることとなった。 ・震災前と比較し半減していた来館者数は、27年度 17,072人、H28年度 19,451人、H29年度 20,927人、H30年度 21,264人と増加してきているものの、伸びが鈍化する傾向もみられ、今回制作したガイダンス映像により、来館者数増加のための有力な要素と期待している。 ・また、本ガイダンス映像は、原子力科学館展示物等のリニューアル工事の先行事業でもあり、今後のリニューアル工事の完成時において、有効に活用できるものを制作した。 			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	原子力科学館リニューアルに伴うガイダンス映像の制作	企画提案方式による契約先選定	(株)ペスコ	6,480,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
無し				

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条（目的）を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。